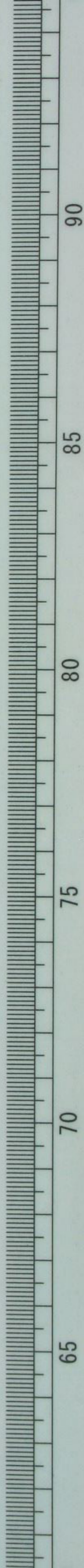
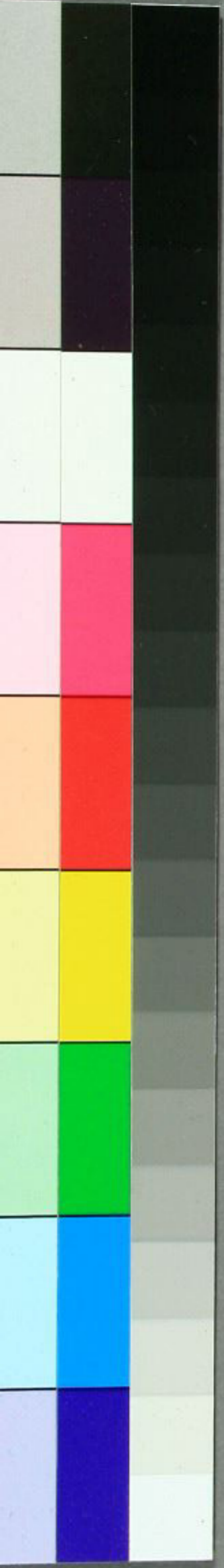


入木石

乞

子多6
1.261



門 6
新 6261
卷

今本は
なやまの道

京都府立総合資料館蔵

持心不亂
心不亂
心不亂
心不亂
心不亂
心不亂
心不亂
心不亂
心不亂
心不亂

美
美
美
美
美
美
美
美
美
美

清
春
色
紙
形
紙
文
字
如
人
之
心
也

如
子
之
心
也
如
子
之
心
也
如
子
之
心
也

せまの海へ
あすはの

舟はあはれ
あはれ

あはれ
あはれ

あはれ
あはれ

子孫の徳を
傳へて
世に
名を
留め
るべし

徳名は
人から
得るべし
徳名は
人から
得るべし

系之入 普通
本之 入 普通

如家 入 普通
与理 入 普通

心あはれ
又法也
ては
ては
ては

毎
下
物
た
り
又
手

の 庵 乃 一 帖 の

字 地 乃 乃 乃 乃 乃

二 聖 乃 乃 乃 乃 乃
小 乃 乃 乃 乃 乃

此多為織造紗原依理經
佳疎控方納玄藤原約

是越之矣如之
成乃方也控疏也約

原文正朝紀時文著
原文時人少燈在時

亦身しと四山在の
よん元子よあり下法也

了んて然るを名に

多ふ能書程あり

禮と行成郷と入
本道相承の礼と

稱
寺
家
一
家

子
家
家
家
家

あつらひては
あつらひては

徳家乃祀録
徳家乃祀録

徳家乃祀録
徳家乃祀録

徳家乃祀録
徳家乃祀録

縵鄉 味中 納運 仔
唐 納右 少將 定之 實

胡 匡 木 方 子 仔
仍 仍 上 中 務 校 少 輔

得纏躬也古象古象人
以能之在象格古象

經朝也言內人經年
御古儀古象古象

行季鄉
上
記
約
原
泉
洞
七

代相傳
此
多
以
子
防
絕

多之能方之好如也
色也孝之孝者議也

為原其基春日卿門也
少中相承也乃是

門寺中如奉久月
西權大納之基定納

十比の權大納之奉
時人權仲納之奉轉

仰其利起其定惟之
矣少遂中安路今乃

亦中納之其时御
中其道統相表也

く他家も競ふ
あゝいかに

又地下一流あり
し、其書情を甲然とす

保者存之統也
多之禮と若事役

とむりて
多之禮と若事役

多岐路人志くきん
下如柳華持也

女中法極筆筆付亦
乃一也及大師の書

訣とせりあり、手本に

三、矢、以、下、母、を、守

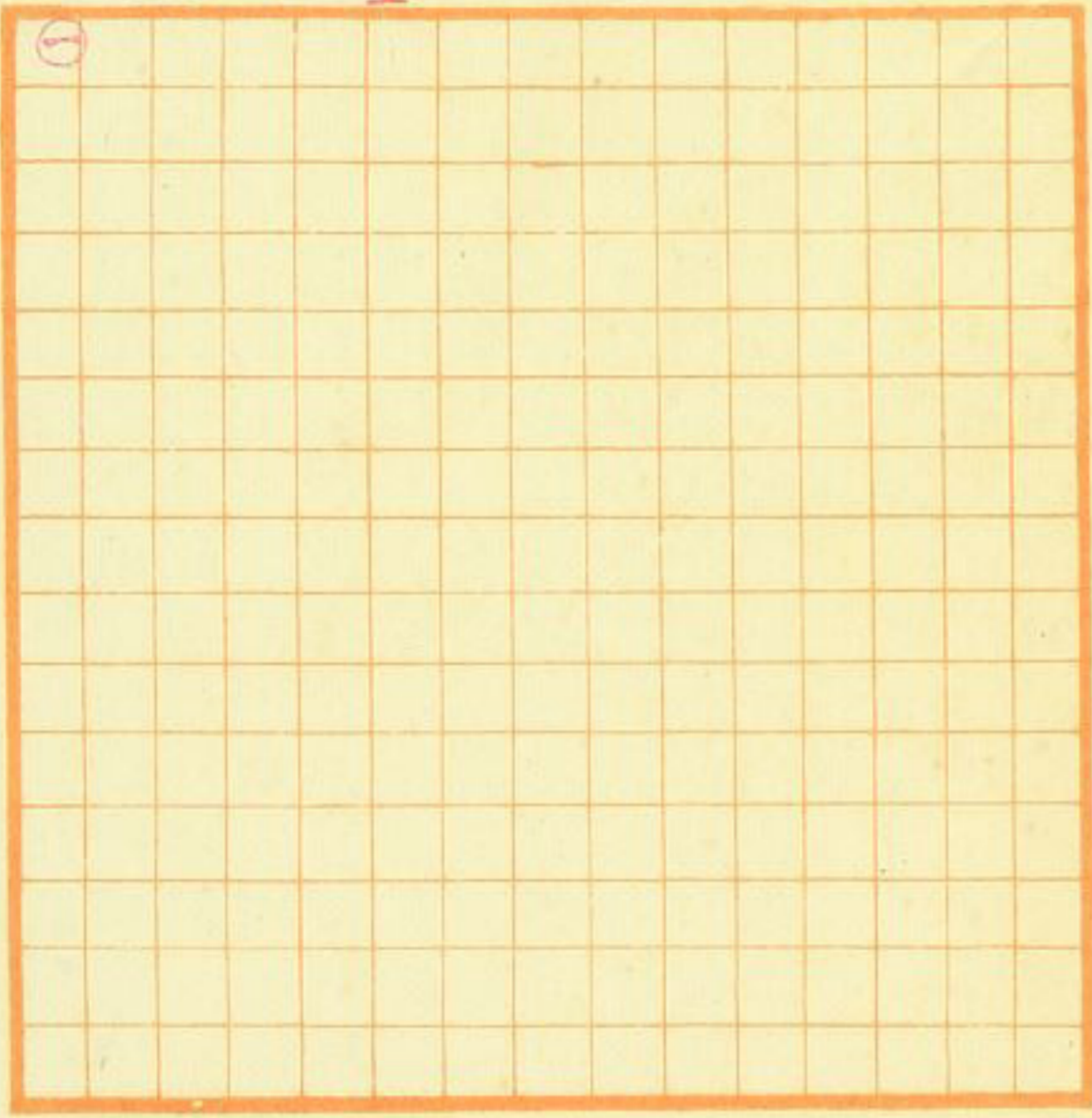
代、に、能、く、終、る、を、守、る、を、
唐、土、の、本、に、守、る、の

はるかに
はるかに
はるかに
はるかに
はるかに

はるかに
はるかに
はるかに
はるかに
はるかに

178

5年1月



源
和
蹟
海

九
源
和
蹟
海

